

平成24年度障害者支援施設光陽荘事業報告書

第1 概況

光陽荘は、社会福祉法の福祉サービスの基本的理念にいう個人の尊厳の保持を旨として、利用者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、利用者のニーズも踏まえた良質かつ適切なサービスの提供に努めている。

平成24年度は、リラクゼーションの取り組みとして、ぽかぽか農園の利活用を積極的に進めるとともに、利用者の心のケア、利用者とのコミュニケーションの円滑化等のために、ミュージックケアの考え方を取り入れた活動を開始した。また、行楽や買い物などの外出活動の拡大にも努めた。

さらに、大規模屋根修繕工事や中庭の整備を通じて、利用者のより良い生活環境の確保を図った。

経営収支の状況では、自立支援費等の収入が処遇改善助成金の見直しによりやや減額となったものの、支出の抑制も相俟って、前年度並みの収益を確保することができた。また、光陽荘の収益の範囲内で、他会計に対して3,000万円の繰出しを実施した、

なお、平成24年度においては、施設を利用する入所者の入退所状況はゼロであり、結果として入所者の高年齢化が徐々に進んでいる。

第2 全体の状況

1 利用状況

施設入所者数は、年間を通して、光陽荘50人、ケアホームたんぽぽ5人の定員を満たしている。事業ごとの利用率をみると、夜間の施設入所事業が98.9%、日中の生活介護事業が113.7%、短期入所事業が53.3%、たんぽぽの共同生活介護事業（ケアホーム）が99.5%であった。

年度	施設入所		生活介護		短期入所		ケアホーム	
	定員	利用率	定員	利用率	定員	利用率	定員	利用率
H23年度	50	98.6%	50	113.7%	4	62.6%	5	99.5%
H24年度	50	98.9%	50	113.7%	4	53.3%	5	99.3%

2 経営状況（経常活動収支）

生活介護、施設入所支援及び短期入所の介護給付費等の自立支援費等収入は331,490千円で、その他収入を加えた収入合計は335,655千円となり、前年度を4,000千円弱下回っている。＜数値はいずれも決算見込み。以下、同じ。＞

一方、支出合計は、302,941千円と、前年度に比べ約12,000千円の増となったが、これは会計間繰出金の増加が主な原因であり、支出の多くを占める人件費については前年度より1,400千円余の減となった。

ケアホームたんぽぽについては、収支ともに前年度とほぼ同様であった。

<光陽荘>

収入

(千円)

区 分	平成24年度	平成23年度	増 減
自立支援費等収入	331,490	331,485	5
その他の収入	4,165	8,055	△3,890
計	335,655	339,541	△3,886

支出

(千円)

区 分	平成24年度	平成23年度	増 減
人 件 費	193,562	195,054	△1,492
事務費・事業費等	79,379	77,473	1,906
会計間繰入金	30,000	18,320	11,680
計	302,941	290,847	12,094

<たんぽぽ>

収入

(千円)

区 分	平成24年度	平成23年度	増 減
自立支援費等収入	16,097	15,602	495
その他の収入	152	666	△514
計	16,249	16,268	△19

支出

(支出)

区 分	平成24年度	平成23年度	増 減
人 件 費	5,635	5,952	△317
その他の支出	1,677	1,542	134
計	7,312	7,495	△183

3 職員の状況

介護給付費における生活介護事業の職員配置基準である「1.7：1」を満たすよう職員の確保に努めるとともに、柔軟な勤務体制など働きやすい職場環境を検討することにより、経験ある職員の雇用継続にも努めた。

平成24年度末の職員数は52人（内 生活支援員は常勤換算で39.8人）であり、上記基準をクリアしている。

(平成25年3月31日現在) (人)

区 分	事 務 室		介護職員	医務室	調理	計
職 名	施設長（理事長） 事務長（事務局長） 副施設長（介護部長） 相談支援専門員（主幹）	生活相 談員 事務室 員	主任 副主任 CW	看護師 歯科衛 生士	管理 栄養 士	
正 規	4	2	27		1	34
非正規		1	14	4		18

計	4	3	41	4	1	52
24年同期	4	3	40	3	1	51

4 施設整備等の状況

主な施設整備として、雨漏り等不具合の生じていた屋根の大規模改修工事を、移行時特別積立金を取崩し・活用して実施するとともに、利用者に安全安心な憩いの場を提供するために、中庭のモデルチェンジ工事及び玄関回り改修工事を実施した。なお、屋根の改修工事に変更（追加）して玄関ポーチ箇所の耐震化工事を実施した。

区分	主な工事内容	工事請負費	施工期間	施工業者名
屋根改修工事	屋根全面改修・玄関ポーチ耐震化工事	35,755 千円	h 24.9.1～11.20	(株)落合組
玄関回り改修工事	玄関回り外壁塗装・廊下改修工事	714 千円	h 24.11.10～11.30	(株)落合組
中庭整備工事	土間 35 m ² コンクリート・タイル工事	2,037 千円	h 25.1.7～1.31	(株)ヤマト
電話機・設備の交換	施設内全電話機 23 台及び電話設備交換	1,340 千円	h 25.1.28.	リコージャパン(株)

5 その他

(1) 職員研修（資料 28・29）

研修への積極的参加を促し、研修結果を職員全体会議等の場において報告を求め、広く職員の資質の向上及び利用者支援・サービスの充実に資することができた。25年度本格導入を目指しているミュージックケアについて担当職員4名を選定し、初級研修に参加し修了した。その他にも、各種の外部研修や研究大会についてもできる限り積極的に参加し、多くの職員が知識や技術を深めることができた。また、関係団体の永年勤続表彰に当該職員を積極的に推薦することで、職員の仕事に対するモチベーションや達成感を高めた。

(2) 会議の開催

全職員に対する施設の基本方針及び重要案件の確認、周知並びに職員研修の場として、四半期ごとに職員全体会議を開催し、円滑な施設運営と支援能力の向上のために資することができた。また、日常的・短期的な課題、行事等に関する協議、及び適切な利用者サービス又は効率的な施設運営等のために、月1回管理運営会議を開催した。なお、介護部においては、処遇方針の決定及び処遇方法等の意思統一のために主任副主任会議を月1回開催し、また、ケアの質の向上や個々の利用者に対する支援方法の周知等のためにグループ毎にケアワーカー会議を月1回開催した。

(3) 災害対策（資料 25）

火災、地震等の災害に備え、毎月1回利用者の避難訓練を実施するとともに、夜間の災害発生に備え、職員の緊急呼び出し訓練を実施した。また、大規模災害に備えて県及び市とメールによる被害状況等伝達訓練を実施した。その他、他所グルー

プホームで発生したトラッキング現象による火災を教訓に、コンセントの破損・埃の点検、掃除を実施した。

(4) 感染症予防対策

インフルエンザの集団発生を予防するため、利用者、職員ともほぼ全員に対し予防接種を実施するとともに、ノロウイルス等による感染症発生に対処するため、看護師による研修を実施した。

24年度は、施設内で感染性胃腸炎が集団発生したが、マニュアルに沿って適切な感染症対策を実施した結果、発生を小規模で短期間に終息することができた。なお、本件については、初期段階から県保健所に通報、指導を求めるとともに、検便検査を徹底して実施した。

(5) 各種行事（資料 24）

利用者に文化的な充足感を味わってもらうために、季節の行事や風習を大事に、企画を凝らし、楽しく参加できるようにした。

(6) 委員会（資料 26）

各種専門委員会を開催し、利用者の安全の確保、利便・快適性の向上、楽しい施設生活の実現のために役立てた。

第3 部門別活動状況

1 事務部門

- ・顧問会計士及び社会保険労務士等との連携を密にし、コンプライアンス（法令遵守）とモラルの遵守を常に念頭に置き、また、法人内規則・規程の熟知を心掛け、正確かつ迅速な事務処理を行うよう努めることが出来た。
- ・障害者自立支援法請求事務に関し、請求誤り・漏れが無いよう法改正や請求ソフト使用方法等の変化に対応できるよう努めることが出来た。また、利用者負担金請求事務に関しては、徴収項目の増加による請求漏れや利用料等の未収が無いよう、請求・入金管理の徹底に努めることが出来た。
- ・予算の有効活用が図られるよう、職種間の連携に努めた。
- ・日用品、消耗品等の的確な購入・管理に努め、コストの低減に心掛けることが出来た。
- ・施設設備、器具、備品の保守管理を徹底し、施設機能の維持に努めることが出来た。
- ・積極的にOA機器を活用し、事務の煩雑化に対処できるように努めた。
- ・施設開設以来使用してきた電話設備が老朽化してきたため、全面的に入れ替え工事を実施した。

2 相談部門

- ・相談援助や他部署との協働、個別支援計画の作成、預り金関係の適正な管理事務、他機関との連携、家族への連絡等、入所利用者の生活の質の向上に係る業務を主として実施した。
- ・サービス管理責任者の下、個別支援計画に基づいたサービスの実現や評価等に努めた。
- ・個別支援計画の作成及びプランの確実な実現に向けて介護職員を支援した。

- ・利用者との関わりを積極的に行い、利用者ニーズの発掘に努めるとともにエンパワメントを意識した側面的支援となるよう継続した取り組みに努めた。
- ・利用者のADL、ニーズや希望・苦情・困りごと等の掌握に努め、職種間の共通理解や処遇困難事例等の改善・解消に努めた。
- ・職種間の協働・調整に努め、利用者サービスの向上に努めた。
- ・利用者の権利擁護と尊厳確保のために職員研修等を積極的にサポートした。
- ・サービス利用に伴う各種手続き等事務代行を的確に実施した。
- ・地域の貴重な社会資源として、施設機能の充実及び職員の資質の向上に努めた。
- ・地域のニーズに的確に応えるために、他施設、関係機関、関係団体等との情報の交換及び連携に努めた。
- ・施設利用に際し、利用者及び家族への十分な説明と情報の提供に努めた。
- ・利用者預り金等の適正な管理に努めるとともに、利用者、家族からの状況報告の要請に随時に対応した。

3 介護部門

〈支援体制全般〉

各部署との連携、協力の下、利用者個々人に対しきめ細かな支援ができた。一方で2グループ支援による業務の効率化を図ることもできた。

また、クラブ活動、リラクゼーション等の余暇、生きがい活動に関わる支援は、日中活動担当を中心に、グループ横断的に展開した。就労的要素のある作業創作活動では、個々の作業能力が十分活用できるよう工夫した。創作活動においては販売力を強化し、工賃増額に繋げることができた。作業、創作活動に馴染みにくい利用者については、日常生活に楽しみや張り合いを感じてもらえるよう、ぽかぽか農園（果樹園、散歩道、畑）の活用に加え、朝礼時にミュージックケアを実施し、朝一番から多くの利用者の笑顔を引き出すことができた。

また、利用者の生活や人間関係が施設の中に留まらないよう、積極的に地域に出掛け、地域の方を招いて、多くの人とコミュニケーションが図れる機会を提供した。施設の行事には、地域の人々や近隣施設の利用者等を招き実施したことにより、交流の広がりや光陽荘利用者に対する理解を深めることができた。

利用者の施設での生活状況を随時開示するとともに必要に応じて、個々の利用者の様子を連絡するなど良好な関係の維持に努めた。

〈職員の合意形成〉

利用者一人ひとりからニーズの聞き取りを行い、ケアプランを作成し、また、利用者懇談会等を通して、利用者の要望、意見を把握した。これをケアワーカー会議、ケアプラン会議、主任副主任会議においてコンセンサスを図り、利用者への支援の充実に繋げた。

〈苦情解決〉（資料 11）

利用者からの苦情に真摯に対応するとともに、苦情の内容等を広報誌で公開した。

<事故防止等>（資料 18）

施設内の事故防止のため安全な動線の確保、適切な職員配置及びリスクマネジメントの徹底に努めた。身体拘束についての理解を徹底し、その廃止又は最小限の実施に努めた。虐待についての理解を徹底し、その防止に努めた。

<職員研修>（資料 27）

利用者の障害特性を理解し、より適切な支援を行うために、職員の各種研修会への参加並びに施設内研修等を積極的に推進した。また、新人職員には介護専門員によるアドバイスやチューター制による相談相手のいる環境を作り、知識や技術を習得させ専門性を高めた。

<平日の活動>（資料 22）

平日は作業創作活動・リラクゼーション・クラブ活動など定番の活動を自己選択（意思表示のできない利用者へは職員が気持ちをくみ取り選択）し参加する、そして週末はフリータイムでのんびり自由に過ごすといった日常の生活スタイル。同時に、月単位、年単位でバラエティーに富んだ楽しみを用意することで、選択肢を広げ施設の中で画一的に暮らすことがないよう工夫できた。

<希望外出>（資料 23）

利用者の希望する少し特別な外出や、非日常的な楽しい体験ができるようにその機会を提供した。具体的には、バラエティーに富んだ10の「希望外出ツアー」を企画し、日帰り旅行や温泉などは利用者に大変喜ばれた。（別頁参照）

<イベント・交流等>（資料 16・17・24）

納涼祭や焼き芋大会など、地域の方を多く招き交流を深めた。恒例となった、音楽バンドや和太鼓のコンサート出演も果たし、利用者の社会参加や地域での認知度を高めることができた。

<作業・創作活動>

作業創作活動（平日の午前中）は、利用者の障害特性をふまえて、「働くこと」や「施設外交流」を意識して支援に努めた。出来上がった品物は利用者自らが販売に携わり、又は外部へ出店して売上げ実績を上げることにより、達成感が感じられるよう工夫できた。なお、作業創作活動に従事した利用者に対しては、工賃を支払い、張り合いや励みを感じてもらえた。

<リラクゼーション>

作業創作活動に参加が難しい利用者は、平日の午前中、「ぼかぼか農園」に出掛け、草花や土風に触れながら散歩を楽しみ、体力増進や気分転換が図れた。夏には農園で採れたスイカを冷やして食べる、ブルーベリーやトマトをその場でもぎ取って味わうなど季節感あふれる体験や、川魚や亀の飼育といったこともやり始め工夫を凝らした多くの体験の機会を提供できた。なお、雨天時は、メンバーでカラオケを楽しむなど天候にかかわらず充実した支援を活発に展開している。

〈基本的な生活支援〉

食事・入浴・排泄・整容等の基本的な生活並びに居住空間の掃除・整理整頓を常に心掛け、清潔で快適な生活が提供できる支援を行った。

4 医務部門（資料 12・13）

- ・施設内で感染性胃腸炎が集団発生したが、マニュアルに沿って適切な感染症対策を実施し、発生を小規模で短期間に終息することができた。
- ・利用者、職員の健康保持及び衛生管理に努めた。
- ・利用者、職員の健康管理のため、4月、11月の2回、健康診断を実施した。
- ・利用者の身体状況の変化や医療上の変化を的確に捉え、嘱託医、協力医療機関の協力を得て、疾病の予防と早期対応を図った。
- ・利用者が入院したときは、病院医療との緊密な連携の下にその支援に努めた。
- ・利用者の健康状況を常に把握し、家族に対する利用者の医療情報の積極的な提供に努めた。
- ・インフルエンザワクチン等予防接種の実施並びにその他の感染症の早期発見、早期治療に努め、感染症対策の充実を図った。
- ・投薬の管理等に細心の注意をもって当った。
- ・利用者の便秘による苦痛の軽減を図るため、自然排便の習慣付けを促進し、運動、水分、下剤の調節等について助言、支援を行った。
- ・嘱託内科医・精神科医の協力の下、適時適切な受診を行った。
- ・地域の病院施設連絡会に参加し、利用者に対するよりよいサービスの提供のための情報の収集に努めた。
- ・虫歯、歯周病等の予防と口腔機能の維持のため、歯科医師、歯科衛生士の協力を得て、口腔ケアに努めた。

5 調理部門（資料 24（3））

- ・月に1回、関係職員と給食委託業者を召集し給食会議を開催した。
- ・給食委託業者と連携して、味・質・提供時間等、充実した食事の提供に努めた。
- ・利用者が季節感を味わうことができるようなメニューの作成に努めた。
- ・嗜好調査を実施し、利用者の食事への希望・要望を食事へ反映できるよう努力した。
- ・委託会社と合同で給食会議を開催し、食事への意見、感想、問題点について話し合い、食事の質の向上に努めた。
- ・常に衛生管理に配慮し、食中毒の未然防止を図った。
- ・医務室からの情報をもとに栄養ケアプランを作成し、より個人に合った栄養ケアができるよう努めた。
- ・医務室と連携し、利用者の健康診断結果を踏まえて食事内容の調整に努めた。
- ・行事に積極的に参加し、利用者との関わりはもちろん、ご家族とも接することができるよう努めた。

第4 短期入所事業

地域での在宅生活が継続できるように、短期入所のニーズに適切に応えるとともに、在宅生活、施設入所ともに困難な利用者の相談を受け、短期入所の継続利用ができるよう調整を図った。そのような継続利用者に対しては、施設入所者と同じサービス（ケア）が受けられ生活の中に楽しみがもてるよう援助した。

また、新規利用者への丁寧な説明や、リピート利用者の要望に出来る限り応えサービスを向上させた。（資料 20）

昨年に続き週末利用の要望が多く、受け入れが特定利用者に偏らないようスケジュールを調整し、公平に利用していただいた。しかし、一週間を超えて利用したいというニーズに応えることができないことや、生活介護通所者の積極的受け入れから、短期入所の利用率はここ数年伸びていない。但し、同じ在宅支援である生活介護については、定員を超えての利用が可能であることもあり積極的に受け入れている。（報酬単価も高い）

〔日中一時支援事業：障害者自立支援法に係る菊川市・掛川市委託事業〕

障害児（者）の日中の生活を一時的に確保する場とし、市町から委託を受け地域生活支援を行う。

今年度これについてのニーズはなかった。通所希望者については、同じサービス内容の生活介護を利用してもらうことでニーズに応えられている。

第5 共同生活介護事業「ケアホームたんぼぼ」

ケアホームにおいては職員のサポートを受けながら家庭的な生活を送れるよう支援した。自分の空間（個室）ではプライバシーに配慮された自由な時間が確保され、共有スペースにおいては団欒の時間を楽しむことができるよう配慮した。

日中活動では、平日は光陽荘の「生活介護」を利用し、光陽荘入所者と同様の活動を楽しみ、週末や帰宅後は「たんぼぼ」独自の外出やイベントを企画・実施するなど、幅広い活動参加や潤いのある生活を送ることができた。

サービス管理責任者（光陽荘兼務）を配置し、個別支援計画に基づいたサービスの実現や評価等に努めた。

<各種活動支援>

① 日中活動

バックアップ施設である光陽荘生活介護サービスの、作業創作活動、及びクラブ活動、各種行事等に利用者個々人の希望に合わせ参加した。

季節行事・イベントは光陽荘の行事に参加した。

② 食事

利用者が世話人等の支援を得て、計画・調達・調理した。また、必要に応じて光陽荘調理室が支援した。

③ 健康管理

定期健康診断を光陽荘利用者に合わせて年2回実施した。必要な受診についても付き添い等の支援を行った。なお、歯科検診及び歯科衛生士による口腔ケアについても、光陽荘利用者と同様に行なった。

④ 余暇活動

日々の生活において生きがいをもって豊かに過ごせるよう、余暇の過ごし方を利用者が中心となって作りあげた。世話人等はこれを積極的に支援した。

また、外出を積極的に行い地域の催しに参加するなど、地域住民との接触に努め、地域居住者としての意識を持てるよう支援した。

⑤ 災害、防災

ホームスプリンクラー及び自動火災報知設備、インターホーン、非常呼び出しセンサー等の設備に加えて、夜間支援従事者を配置することにより、災害・防災体制の万全を図った。加えて、常に光陽荘との連携を図った。

⑥ 苦情相談・解決

光陽荘と共通の苦情相談窓口・体制において、真摯に対応し、その結果等を光陽荘広報誌において公開した。

⑦ 金銭管理

利用者等から預託された金銭及び各種書類の扱い及び利用者及び家族等への報告等については、光陽荘と同様の取り扱いをした。

⑧ 夜間支援体制

夜間から早朝にかけて、夜間支援従事者1名を配置した。また、世話人等と協力し夕食・朝食の調理・介助、入浴・排泄の介助、洗濯、居室・衣類等の整理整頓など各種の支援を行なった。

第6 特定相談支援事業

障害福祉サービスを希望する障害者の要請に応じて、サービス等利用計画案の作成等の支援を行うため、特定相談支援事業を運営する必要があるため指定申請を行った。平成25年3月1日認可に至り開設をした。

名称は「光陽荘障害者相談センターすてっぷ」とした。

2.2 全体的支援の状況

(1) 作業創作活動（工賃を支払う活動）

活動名	内容	活動日	人数
作業・創作活動	洗濯たたみ・畑・エプロン畳み・ゴミ集め・おしぼり作り・作品作り	(月)～(金) 午前中	22人
コーヒー喫茶	コーヒー販売（喫茶店形式）	月1回	6人

(2) クラブ活動及びその他の活動

クラブ名	内容	活動日	人数
音楽クラブ	パート、曲の練習・ 行事、コンサートへの参加	第1月曜日 PM	16人 (主な演奏者7人)
和太鼓クラブ	基本打ちの練習・納涼祭参加・ コンサートへの参加	第1月曜日 PM	11人
スポレククラブ	練習・試合・ゲーム	第2月曜日 PM	全利用者
クッキングクラブ	おやつ・料理・飲み物作り他	第3月曜日 PM	約20名
点字クラブ	点訳サークル泉との交流 点字・平仮名の練習	第4月曜日 PM	13人
生花クラブ	花器選び・リース・ フラワーアレンジメント	第5月曜日 PM	自由参加 約10人/回
リラクゼーション	ぽかぽか農園・散歩・音楽鑑賞・朗 読	(月)～(金) 午前中	33人
懇談会	行事予定の説明・連絡・話し合い	第4水曜日 PM	自由参加 30名程度
買い物・ドライブ	買い物・ドライブ <行先> 菊川市内・掛川・牧之原・島田・御 前崎等	木曜日 PM	全利用者 約20人/回 1人平均 2回/月

2.3 個別的支援の状況

(1) 一般外出等

内容	回数	人数
個別支援外出（買い物・外食・協力病院以外の通院等）	随時	希望者
散髪（理髪店での散髪希望者）	37便	81人/述

(2) 希望外出

実施日	プラン名	行先	人数
5月30日	いちご狩り 甘～い真っ赤なイチゴ！	浜松フルーツパーク	15人
7月19日	歌って♪踊って♪1・2・3	カラオケJスタジオ	3人
8月23日	地場産ヘルシーメニューに舌つづみ	どんどこ浅羽	8人
9月19日	キムタクおすすめげんこつハンバーグ	さわやか	5人
9月27日	本場中国人シェフ！ラーメンからフカヒレスープまで	福盛	9人
10月31日	ほっこりまったり♨️温泉ランチ	子生まれ温泉	9人

11月22日	お腹いっぱいおふくろの味!!	菊川食堂	2人
11月29日	気軽に低価格お馴染みガスト	ファミレスガスト	7人
12月20日	エビ・タコ・イクラ寿司食いねえ～♪	かつぱ寿司	9人
12月27日	毎度あり!		6人
2月4日	1番人気!つま恋ランチバイキング	つま恋	13人

(3) 歯科検診・口腔ケア

4月	口腔ケア	35人	10月	口腔ケア	35人
5月	口腔ケア	35人	11月	口腔ケア	35人
6月	口腔ケア	35人	12月	口腔ケア	36人
7月	口腔ケア 歯科検診	35人 55人	1月	口腔ケア	36人
8月	口腔ケア	35人	2月	口腔ケア	0人
9月	口腔ケア	35人	3月	口腔ケア	36人

2.4 行事の状況

(1) 光陽荘・たんぼぼ

4月	家族会総会・お花見(小菊荘)・健康診断・リネン交換
5月	家族会整備事業(草取り)・端午の節句・菖蒲湯・新茶を楽しむ会
6月	昼食バイキング・牧之原音楽マラソン参加(音楽クラブ)・エアコンフィルター掃除
7月	開設記念日・歯科検診・七夕
8月	納涼祭・トータスクラブ様(歌と踊り観賞)・災害ボランティア依頼訓練・かき氷を楽しむ会
9月	総合防災訓練・潮海寺地区敬老会・スポレク大会・町部地区文化祭参加(和太鼓クラブ・創作品販売)・もみじの会様(合唱・詩吟・オカリナ観賞)
10月	運動会・菊川市ふれあい広場(見学・創作品販売・和太鼓クラブ演奏)・自治会(潮海寺)催し物参加
11月	総合防災訓練・健康診断・インフルエンザ予防接種・秋の収穫祭(芋煮&ミニコンサート)・福祉体験(岳洋中学)・エアコンフィルター掃除・健康診断・焼き芋を楽しむ会・インフルエンザ予防接種
12月	不在者投票・障害者週間(カレー作り)・クリスマス会・東遠まつり(創作品販売・音楽クラブ演奏)・業者による荘内清掃(床・ガラス・換気扇)・交流(ボーイスカウト様)・ゆず湯・年末大掃除・家族会門松作り
1月	新年祝賀会・初詣・七草粥・不在者投票・餅つき大会(中止)
2月	バレンタインディー・節分
3月	ひな祭り(装飾・行事食のみ)・ホワイトディー(注文販売)
毎月	懇談会・喫茶・駄菓子販売・パン販売・散髪・ピアノライブ・掛川市役所創作品出張販売「よってっ亭」、法人内販売(納品)
2月17日～3月14日 感染性胃腸炎発症のため感染症対策実施(行事、活動の中止)	

(2) たんぽぽ独自の活動

5月	イチゴジャム作り・菖蒲湯・餅作り
6月	梅干し作り
7月	七夕・シソジュース作り
10月	一泊旅行（御前崎）
11月	市民歌謡ショー鑑賞（菊川文化会館アエル）
12月	餅つき・忘年会・柚子湯・選挙送迎とサポート
1月	新年会・小国神社に初詣・選挙送迎とサポート
毎月	たんぽぽミーティング・防災訓練（避難訓練・インターホン訓練等）
光陽荘感染症対策期間中、ケアホーム内で過ごす。	

(3) 選択食・行事食の提供

月	選択食内容	その他 行事食
4月	アジの南蛮漬け 豚肉の辛味炒め 鶏の治部煮（13日）	
5月	シューマイ ゆで豚梅おろし アジの塩焼き（23日）	30日 職員リクエストメニュー やきそばとお好み焼き
6月	鶏肉のトマトジュレソース・キャベツの塩昆布和え たっぷり野菜と鯖竜田の塩麹ダレ・かぼちゃとおくらの豆乳煮（13日）	20日 昼食バイキング
7月	鶏肉のピカタ ゴーヤチャンプルー 鮭の和風ムニエルおろししょうゆ和え（20日）	7日 七夕そうめん 24日 そばうち
8月	フレンチトースト ピザトースト（23日）	15日 終戦記念日（すいとん）
9月	カツ丼 和風ビビンバ さんま蒲焼丼（19日）	3日 非常食を使ったメニュー （ごはん・豚汁） 29日 運動会弁当
10月	エビフライ ハンバーグ（19日）	17日 秋祭り（握り寿司） 29日 職員リクエストメニュー きのこのたきこみごはん さんまの塩焼き 秋茄子田楽 サマイの蒸しパン 吸物
11月	酢豚 ホイル焼き チンジャオロース（28日）	6日 ラーメンフェスタ
12月	【主食】白米 パン ピラフ 【主菜】ローストチキン サーモン ムニエル ミートローフ（19日）	5日 障害者週間カレー作り
1月	天ぷら いわしつくねの煮物 牛肉の野菜巻き（21日）	1日～3日 正月メニュー
2月	白身魚のピカタ 鶏のカシューナッツ炒め 豚の梅しそ巻きフライ（25日）	3日 節分メニュー（助六） 20日 【職員リクエストメニュー】 ひもの ほうれん草のおひたし たくあん りんご 豚汁
3月	アジフライ ロールキャベツ 鶏とホタテのシューマイ（18日）	3日 ひなまつり（チラシ寿司） 27日 握り寿司バイキング

2.5 避難防災訓練の状況

月	内 容
4月	夜間火災想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
5月	夜間火災想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
6月	夜間非常呼び出し訓練（抜き打ち）・防災点検
7月	救急救護講習（心肺蘇生法・AEDの取扱について消防署員指導）・防災点検
8月	夜間火災想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検 大規模災害被災時対応訓練参加（市社協主催）
9月	総合訓練（地震予知非常呼び出し訓練・日中地震想定避難誘導訓練、日中火災想定避難誘導）・排煙装置取扱・防災設備取扱・防災点検
10月	生活用水汲み上げ訓練・防災点検
11月	福祉施設防災の日（日中地震想定避難誘導訓練・自主防災隊活動・防災設備取扱・防災点検）
12月	消火器取扱い訓練・防災点検
1月	夜間想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
2月	日中想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
3月	防災DVD鑑賞・防災点検

2.6 各種委員会の状況

委 員 会 名		
リスクマネジメント	新人職員研修	施設整備・備品点検
身体拘束解消	チューター制	物品管理 入出庫
虐待防止	処遇向上（QC活動）	防災
感染症対策	懇談会	身だしなみ・清潔
衛生・清掃	あい通信	サービス検討委員会
職員研修（全体）	実習生・ボランティア	
特別プロジェクト（準備チーム）		
ミュージックケア	支援記録等のIT化システム導入	

2.7 家族会との連携の状況

月	内 容
4月	家族会総会及び互助会全体会・第1回役員会
5月	施設整備事業（ぽかぽか農園草取り・交流会）・第2回役員会
8月	納涼祭・バザー・第3回役員会
10月	運動会
11月	収穫祭
12月	第5回役員会
3月	第6回役員会役員会（総会準備）
随時	有志による施設、農園の整備

28 職員研修状況

研修先	研修名
全国身体障害者施設協議会	研究大会・スキルアップ研修
東海北陸地区ブロック	研究大会
福祉サービス検討委員会	年3回定例
全国盲重複障害者福祉施設研究協議会	研究大会・運営委員会及び施設長セミナー・職員研修
東遠地区施設連絡会 東遠地区自立支援協議会	施設見学・職員研修 保健福祉研修会
静岡県社会福祉協議会	新任職員研修（Ⅰ・Ⅱ）・指導的職員研修Ⅰ・中堅組織性向上講座・リスクマネジメント講座・権利擁護成年後見人セミナー・災害時要援護者支援セミナー・福祉サービス苦情解決研修会・記録の書き方講座・葉の知識講座・
静岡県	相談支援従事者研修・サービス管理責任者研修・社会福祉施設等職員防災研修会・ふじのくに防災士養成講座・障害者虐待防止・権利擁護研修会
静岡県給食協会	栄養士研修会
菊川市立病院	BLS研修
菊川市消防署（救急隊来荘）	心肺蘇生法講習
菊川市社会福祉協議会	社会福祉施設と地域住民による地域づくりセミナー・
その他	ミュージックケア初級研修・伊東の丘視察（記録・請求システム活用状況）・視覚障害者リハビリテーション基礎講習会
法人研修	基礎研修（1・2）・リーダー研修・接遇研修・パソコンらくらく研修・看取り研修・感染症予防対策研修
職員の資質向上、スキルアップ及び自立支援費制度に対する理解、把握のために各種研修に積極的に参加、施設内研修の充実に努めた。	

29 職員被表彰者の状況

団体名	種類	人数
全国盲重複障害者福祉施設協議会	永年勤続表彰 10年	2名
	永年勤続表彰 20年	1名
菊川市社会福祉協議会会長表彰	社会福祉功労者会長表彰 10年	1名

30 協力医療機関・通院機関の状況

区分	医師名（所属）・病院名
嘱託医（内科）	石原一義医師・豊島駿医師（掛川北病院）
嘱託医（精神科）	野島秀哲医師（岡本クリニック）
協力医療機関	菊川市立総合病院・甲賀歯科医院
産業医	大沢伸孝医師（横浜クリニック）
通院機関	菊川市立総合病院・菊川眼科・御前崎病院・あかつちクリニック・甲賀歯科・加藤歯科・杉原脳外科・北島クリニック・くにお皮膚科等

資料編

(平成24年度/平成25年3月31日現在)

光 陽 荘

- 1 障害程度区分別利用(入所)者数
- 2 年齢別利用(入居)者数
- 3 利用(入居)者平均年齢
- 4 在所期間別利用(入居)数
- 5 食事介助状況者数
- 6 入浴介助状況者数
- 7 排泄介助状況者数
- 8 面会状況
- 9 帰省(外泊)状況
- 10 入居・退去状況
- 11 苦情受付状況
- 12 他医療機関への受診状況(述べ人数)
- 13 入居者・利用者医療状況
- 14 所在状況
- 15 入居申込み(待機者)状況
- 16 ボランティア(余暇支援)状況
- 17 ボランティア(奉仕)状況
- 18 事故調査状況
- 19 実習状況
- 20 短期入所利用状況 生活介護利用状況
- 21 施設入所利用状況 ケアホーム利用状況
- 22 全体的支援の状況
- 23 個別的支援の状況
- 24 行事の状況
- 25 避難防災訓練の状況
- 26 各種専門委員会の状況
- 27 家族会との連携状況
- 28 職員研修状況
- 29 職員被表彰者の状況
- 30 協力医療機関・通院機関の状況

I. 利用実績

1 障害程度区分別利用(入所)者数

光陽荘 (平成25年3月31日現在)

	区分1・2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	0	0	2	20	22
女性	0	0	0	4	24	28
合計	0	0	0	6	44	50
割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	12.0%	88.0%	100.0%
平均障害程度区分	5.88 (男性 5.91 女性 5.86)					
平成23年度	5.88 (男性 5.91 女性 5.86)					

たんぽぽ (平成25年3月31日現在)

	区分1・2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	0	0	0	1	1
女性	0	0	0	3	1	4
合計	0	0	0	3	2	5
割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	4.0%	100.0%
平均障害程度区分	5.40 (男性 6.00 女性 5.25)					
平成23年度	5.40 (男性 6.00 女性 5.25)					

2 年齢別利用(入居)者数

光陽荘 (平成25年3月31日現在)

	20歳以下	21歳～30歳	31歳～40歳	41歳～50歳	51歳～60歳	61歳～64歳	65歳～69歳	70歳以上	合計
男性	0	2	2	11	4	0	2	1	22
女性	0	0	5	5	8	4	4	2	28
合計	0	2	7	16	12	4	6	3	50

(平成24年3月31日現在)

	合計
男性	22
女性	28
合計	50

たんぽぽ (平成25年3月31日現在)

	20歳以下	21歳～30歳	31歳～40歳	41歳～50歳	51歳～60歳	61歳～64歳	65歳～69歳	70歳以上	合計
男性	0	0	0	1	0	0	0	0	1
女性	0	0	0	2	1	0	1	0	4
合計	0	0	0	3	1	0	1	0	5

(平成24年3月31日現在)

	合計
男性	1
女性	4
合計	5

3 利用(入居)者平均年齢

光陽荘 (平成25年3月31日現在)

	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性	47.1	21	76
女性	54.7	39	81
合計	51.7		

(平成24年3月31日現在)

	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性	46.2	20	75
女性	53.7	38	80
合計	50.6		

たんぽぽ (平成25年3月31日現在)

	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性(1人)	45.0	45	
女性(4人)	53.3	45	68
合計	51.6		

(平成24年3月31日現在)

	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性	44.0	44	
女性	52.3	44	67
合計	50.6		

4 在所期間別利用(入居)数

光陽荘 (平成25年3月31日現在)

	1年未満	1年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年以上	合計	平均在所期間
男性	0	5	5	1	0	11	22	
女性	0	3	3	3	3	16	28	
合計	0	8	8	4	3	27	50	15年10か月

	1年 未満	1年～ 3年未満	3年～ 5年未満	5年～ 7年未満	7年～ 9年未満	9年 以上	合計	平均在所期間
男性	0	0	0	0	1	0	1	
女性	0	1	0	0	3	0	4	
合計	0	1	0	0	4	0	5	15年4か月

5 食事介助状況者数

(平成25年3月31日現在)

区分	人数	割合
全面介助者	6	12.0%
一部介助者	41	82.0%
介助なし	3	6.0%

(平成24年3月31日現在)

区分	人数	割合
全面介助者	6	12.0%
一部介助者	41	82.0%
介助なし	3	6.0%

6 入浴介助状況者数

(平成25年3月31日現在)

区分	人数	割合
特別浴	1	2.0%
個浴	13	26.0%

(平成24年3月31日現在)

区分	人数	割合
特別浴	1	2.0%
個浴	13	26.0%

7 排泄介助状況者数

(平成25年3月31日現在)

区分	人数	割合
おむつ使用者	4	8.0%
紙パンツ又はトイレ介助者、 ポータブルトイレ使用者	36	72.0%
見守り	10	20.0%

(平成24年3月31日現在)

区分	人数	割合
おむつ使用者	5	10.0%
紙パンツ又はトイレ介助者、 ポータブルトイレ使用者	35	90.0%
見守り	10	0.0%

8 面会状況

(平成24年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	54	58	25	24	72	25	70	21	31	18	10	14	422人
1日平均人数	1.1	1.2	0.5	0.5	1.4	0.5	1.4	0.4	0.6	0.4	0.2	0.3	

9 帰省(外泊)状況

(平成24年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	2	4	2	6	12	2	2	1	12	14	1	0	58人
日数	2	16	1	18	47	2	2	1	36	45	4	0	174日

10 入居・退去状況

(平成24年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成23年度
入居者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2(内1はCHから)
退去者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2(内1はCHへ)
月末在籍者数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600	

11 苦情受付状況

1) 苦情受付件数

(平成24年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成23年度
苦情受付件数	1	1	1	2	2	1	1	1	1	2	0	2	15件	16件

2) 苦情の分類一覧 (平成24年度)

苦情の分類	件数
ケアの内容に関わる事項	2
個人の嗜好・選択に関わる事項	10
他の利用者・職員に関わる事項	3
面会者に関わる事項	
財産管理等に関わる事項	
施設内規に関する事項	
その他	
合計	15

(平成23年度)

苦情の分類	件数
ケアの内容に関わる事項	4
個人の嗜好・選択に関わる事項	5
他の利用者・職員に関わる事項	6
面会者に関わる事項	
財産管理等に関わる事項	
施設内規に関する事項	
その他	1
合計	16

※全て利用者より受付

12 他医療機関への受診状況(述べ人数)

(平成24年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	5	2	3	5	1	3	1	4	3	7	1	5	40
精神科													0
脳外科	1		1			1			1		1		5
整形外科	1				1	4	4						10
外科													0
泌尿器科													0
眼科	6	6	2	1	4	2	1	3	4	1	2	4	36
皮膚科				2			3	6	2				13
耳鼻科	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1		1	13
歯科	1	5	2	2	4		2			1	2	2	21
婦人科	1			1		1			1			1	5
循環器科													0
合計	17	14	9	12	11	12	13	14	12	10	6	13	143

嘱託医による受診(往診)状況(述べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	26	28	29	20	21	25	20	21	30	29	27	32	308
精神科	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
合計	77	78	67	63	65	65	65	69	74	66	61	77	827

13 入居者・利用者医療状況

1) 入院状況

(平成24年度)

治療科	人数	治療科	人数	平成23年度
内科	2	泌尿器科		2
眼科	1	整形外科		
脳外科		口腔外科		

2) 処置状況

(平成25年3月31日現在)

処置状況	人数	処置状況	人数
経口与薬	45	経管栄養	
創傷処置	随時	酸素吸入	1
軟膏塗布	随時	浣腸、摘便	4
点眼	6		

14 所在状況

(平成25年3月31日現在)

市町名	在籍者数	入所・退所状況		平成24年3月31日現在			市町名	在籍者数	入所・退所状況		平成24年3月31日現在		
		入居	退去	在籍者数	入所	退所			在籍者数	入所	退所		
下田市	1			1			焼津市	3			3	1	
南伊豆町	1			1			藤枝市	4			4		

松崎町	1			1			牧之原市	2			2	1	
伊東市	1			1			吉田町	1			1		
沼津市	2			2			川根本町	1			1		
三島市	1			1			浜松市	5			5		
伊豆氏	1			1			磐田市	2			2		
伊豆の国市	1			1			掛川市	3			3		1
清水町	1			1			湖西市	1			1		
御殿場市	1			1			森町	1			1		
富士宮市	1			1			神奈川県横須賀市	1			1		
富士市	2			2			東京都足立区	1			1		
静岡市	6			6		1	岐阜県大野町	1			1		
島田市	4			4									
合 計								50人	0人	0人	50人	2人	2人

15 入居申込み(待機者)状況

(平成25年3月31日現在)

市区町名	申込者数	平成24年3月31日現在			
静岡市清水区	1			1	
菊川市	1	1			1
御前崎市	2	1			1
浜松市天竜区	3	2			1
三島市	1	1			
静岡市葵区	2	3			
合 計			9人		8人

16 ボランティア(余暇支援)状況

(平成24年度)

月 日	団体名(代表者名)および個人名	人数	内 容
8月15日	市民	1人	ハーモニカ演奏(独奏)
8月19日	トータスクラブ	10名程度	歌披露
8月21日	ハーモニー青葉	6人	ハーモニカ演奏
9月19日	もみじの会	20名程度	詩吟・歌披露
11月3日	クエッションバンド	10名程度	バンド演奏
12月2日	ボーイスカウト	30名程度	交流
1月24日	歌手	1人	ギターと歌披露

17 ボランティア(奉仕)状況

(平成24年度)

団体名(代表者名)および個人名	内 容	年間日数	実人数	活動日
家族会	施設整備(農園の草取り)	1	35	5月27日
市民	散歩付き添い	24	1	定期(月2回)
市民	創作活動手伝い	127	2	定期(週2~3回)
市民	通院の送迎	102	5	定期(1人月2回)
市民	縫物	6	2	定期(2ヶ月1回)
菊川常葉学園高校 美術デザイン科	ガラス絵描写	4	6~8名	4回(シーズン毎)
小学生 (ボランティア体験)	創作活動・リラク ゼーション(散歩等)	10	16	夏休み
市民・高校生 ・法人内職員	納涼祭模擬店	1	9	8月4日
視覚障害者親の会	ガラス拭き	1	5	10月15日
家族	焼き芋作り	1	4	11月28日
家族	施設・農園の草取り等	26	4	随時
合 計		303	83	

平成24年度	合 計	年間日数	303人	年間人数	83人
--------	-----	------	------	------	-----

その他協力者(ボランティア・販売)

団体名および個人	内容	年間延回数	実人数	活動日
個人ボランティア	音楽指導・ピアノライブ	70	1	月曜日・イベント時
駄菓子やっこ	駄菓子の販売	24	2	第1・第2水曜日
中村美容室	散髪	21	2	第2・第4月曜日
友の輪商事	車椅子点検・販売	12	1	第2月曜日
Mネット	パン販売	11	5	第3月曜日
草笛	パン販売	11	5	第1月曜日
点訳サークル泉	点字指導・交流	11	10	第4月曜日
コーラスグループ	クリスマスの歌	1	2	クリスマス行事
合計		161	28	

その他協力者(寄付者)

寄付者	寄付金品名	寄付日
高田薬局	加湿器3台	4月10日
明るい社会づくり運動菊川協議会	タオル300枚	11月12日
全国育樹祭静岡県実行委員会	花入りプランターカバー20鉢	11月14日
フライスター株式会社	200,000円	12月14日
その他の寄付金品	座卓(リサイクル)・洗濯機(リサイクル)・球根・薩摩芋・毛糸・点字カレンダー他	

* 16・17について、敬称を省略

18 事故調査状況

(平成24年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
怪我	転倒	2	4	4	3	1	3	1	1	2	1	1		23
	転落・滑落			1			2							3
	摩擦													0
	衝突			2		2								4
食物	誤嚥													0
	異食・誤飲		1											1
	経管栄養													0
薬	誤薬			3		1								4
	投薬忘れ	2				1			1					4
	内服薬													0
	配薬													0
ケア	爪切り													0
	ケア提供													0
	ショート忘れ物													0
物損	私物紛失													0
	物損	1			1	1	1	1						5
	利用者同士のトラブル	2	2	5	3	2		3	3		3	2	2	27
	その他	1	7	4	4	7		4	4	7	1	2	5	46
														0
合計		8	14	19	11	15	6	9	9	9	5	5	7	117

19 実習状況

(平成24年度)

学校名等	実習名	年間延日数	実人数	平成23年度	
				延日数	実人数
静岡福祉大学	介護福祉実習	92	6	86	4
東海福祉専門学校	介護実習	35	7	43	7
静岡歯科衛生士専門学校	臨地実習(歯科衛生士養成課程)	6	2	15	5
浜松大学	臨地実習(管理栄養士養成課程)	5	1	10	2
合計		138日	16人	154日	18人

介護等体験

(平成24年度)

学校名等	実習名	年間延日数	実人数
静岡大学	介護等の体験(教諭免許状許可に係る体験)	5	1
池新田高校	職場体験	9	3
岳洋中学	福祉体験	2	10
合計		16日	14人

20 短期入所利用状況 生活介護利用状況

短期入所

(平成24年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成23年度
利用者人数	11	10	9	12	9	10	10	11	9	8	7	12	118人	126人
延べ利用日数	69	71	69	77	69	62	65	62	56	63	46	69	778日	917日
1日平均	2.3	2.3	2.3	2.5	2.2	2.1	2.1	2.1	1.8	2.0	1.6	2.2	2人	3人
利用率	57.5%	57.3%	57.5%	62.1%	55.6%	51.7%	52.4%	51.7%	45.2%	50.8%	41.1%	55.6%	53.3%	62.6%

生活介護

(平成24年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成23年度
利用者人数	66	65	64	67	64	65	65	66	64	63	62	67	778人	770人
延べ利用日数	1,262	1,301	1,262	1,308	1,287	1,254	1,309	1,255	1,303	1,310	1,136	1,303	15,290日	15,350日
1日平均	57.4	56.6	57.4	56.9	56.0	57.0	56.9	57.0	56.7	57.0	56.8	56.7	57人	57人
利用率	114.7%	113.1%	114.7%	113.7%	111.9%	114.0%	113.8%	114.1%	113.3%	113.9%	113.6%	113.3%	113.7%	113.7%

21 施設入所利用状況 ケアホーム利用状況

施設入所

(平成24年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成23年度
利用者人数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600人	600人
延べ利用日数	1,497	1,534	1,499	1,532	1,503	1,498	1,548	1,499	1,514	1,501	1,392	1,538	18,055日	18,050日
1日平均	49.9	49.5	50.0	49.4	48.5	49.9	49.9	50.0	48.8	48.4	49.7	49.6	49人	49人
利用率	99.8%	99.0%	99.9%	98.8%	97.0%	99.9%	99.9%	99.9%	97.7%	96.8%	99%	99.2%	98.9%	98.6%

ケアホーム

(平成24年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成23年度
利用者人数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60人	60人
延べ利用日数	147	155	150	154	151	150	155	150	153	152	140	155	1,812日	1,820日
1日平均	4.9	5.0	5.0	5.0	4.9	5.0	5.0	5.0	4.9	4.9	5.0	5.0	5人	5人
利用率	98.0%	100.0%	100.0%	99.4%	97.4%	100.0%	100.0%	100.0%	98.7%	98.1%	100.0%	100.0%	99.3%	99.5%